

# 「放送局の目標」 一覧

2018年度

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 札幌放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「いざという時に頼りになる”NHK北海道”」として、北海道7局が一体となって災害・減災・緊急報道に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害時の管中放送体制の確立</li> <li>◇大規模災害を想定した訓練の実施</li> <li>◇インターネット等を活用した災害情報の発信強化</li> <li>◇ライフライン放送の遠隔支援</li> <li>◇放送設備の整備とシステム開発の推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「身近で話題になる”NHK北海道”」を目指して、地域の多様な期待に応える新たな放送サービスを展開します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道の課題を考える拠り所となる番組制作</li> <li>◇幅広い層が楽しめて多様な文化を育む番組制作</li> <li>◇SHV本放送開始にあたり4K・8Kの充実強化</li> <li>◇インターネットを活用した地域情報の発信強化</li> <li>◇全中番組の地域先行放送、重点編成月間の設定</li> <li>◇地域局の新しい放送・サービスの評価システムの導入</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	「地域の応援団”NHK北海道”」として、地域を応援する放送サービスやイベントで地域の活性化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域を応援する「I LOVE JIMOTO 北海道」の継続</li> <li>◇北海道150年(2018年)”と連動した放送・サービスの実施</li> <li>◇アジアを重点とした国際発信・広報の強化</li> <li>◇朝ドラ「夏空」と連動した地域の活性化と理解促進</li> <li>◇プロスポーツチームとの連動や地元選手との連動</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	”NHK北海道”が一体となって、2020年度末「支払率75%」「衛星契約割合50%」の達成を目指して、受信料の公平負担の徹底に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域を特定した重点施策を展開</li> <li>◇新たな営業活動の手法を検討・開発</li> <li>◇北海道7局が一体となった受信料の理解促進活動の展開</li> <li>◇放送や広報・イベントを通じて視聴者との結びつきを強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
5	働き方改革を推進し、活力ある業務体制・職場環境の実現に向けて、“NHK北海道”の最適な経営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇働き方改革とダイバーシティの実現</li> <li>◇リスクマネジメントの強化</li> <li>◇関連団体への最適な業務委託と役割分担</li> <li>◇オフィス環境改革の推進</li> <li>◇域内局の局舎建て替え・補修の検討</li> <li>◇最適で持続可能な組織・業務体制を目指した検討の推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 函館放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	北海道一体運用の中で、道南の安全・安心の拠点として災害・緊急報道に取り組むと同時に、地域の期待に応える放送サービスやイベントを展開し、地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害・緊急報道における初動体制の堅持と、定期的訓練の実施</li> <li>◇人口流出やイカの不漁など、地域の課題に向き合う報道</li> <li>◇青函連携の取り組み推進</li> <li>◇地域の情報や文化の発信強化</li> <li>◇安定送出と電波確保、良好な受信環境の確立</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	「働き方改革」に不断に取り組み、意識改革や業務改革を推進します。また、少人数職場のメリットを活かしコミュニケーションの活発化を図ることにより、リスクマネジメントを強化しコンプライアンスの徹底を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇働き方改革の具体的な取り組みを明確化し、各職場で実践</li> <li>◇業務の整理とアウトソーシングの推進</li> <li>◇適正経理研修などを活用するとともに、内部監査事例などの情報を共有化</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>
3	公共放送や受信料制度の理解促進を図りながら受信料の公平負担に取り組む、2020年度末「支払い率75%」「衛星契約割合50%」の達成をバックアップする活動を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇公開番組やイベント、広報活動を通じた幅広い理解促進活動の展開</li> <li>◇地域行事等へ積極的に参加し、視聴者との結びつきを強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 旭川放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	いざという時、頼りになる地元の放送局として、日頃から災害に備え、地域の「安全・安心」を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害に備えた体制整備と訓練</li> <li>◇全局体制による緊急報道</li> <li>◇ライフライン放送の遠隔支援</li> <li>◇放送設備の保守、点検、整備</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域を応援する放送局として、道北の魅力や課題を広く発信し、放送や事業、デジタルサービスを通じて地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の課題を掘り下げ、対策を探るニュースや番組</li> <li>◇地域を応援する多様な放送サービス</li> <li>◇地域の文化を育み、豊かな暮らしに資する事業</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	働き方改革を推進し、創造的で活力ある職場を実現することで、個々の能力を最大化し、放送サービスの充実につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークライフバランスに資する働き方改革</li> <li>◇ダイバーシティ職場の実現</li> <li>◇風通しの良い職場環境の構築</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 帯広放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「いざという時に頼りになる”NHK”」として道内6局と連携して災害・減災・緊急報道に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害時の管中放送体制を確立します。</li> <li>◇大規模災害を想定した緊急報道訓練を実施します。</li> <li>◇局内防災訓練を実施します。</li> <li>◇放送設備を整備します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「身近で話題になる”NHK”」を目指して、地域の多様な期待に応える新たな放送サービスを展開します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の課題や新しい取り組みに関する番組を制作します。</li> <li>◇SHV本放送開始にあたり、4K・8Kの理解・普及促進を図ります。</li> <li>◇重点編成月間(10月)での発信力を強化します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	「地域の応援団」として、地域を応援する放送サービスやイベントで地域の活性化に貢献し、受信料の理解促進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域を応援する「I LOVE JIMOTO 北海道」を継続します。</li> <li>◇北海道150年(2018年)”と連動した番組・レポートを制作します。</li> <li>◇朝ドラ「夏空」と連動した地域の活性化と理解促進を図ります。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	働き方改革を推進し、活力ある業務体制・職場環境の実現に向けて、“NHK北海道”の最適な経営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇働き方改革を実現します。</li> <li>◇リスクマネジメントを強化します。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

# 北海道

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 釧路放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	いざという時に頼りになる”NHK北海道”として、道内7局一体になって災害・減災報道に取り組み、北海道東部沖で切迫している可能性の高い巨大地震・津波への備えを強化します。また、北方領土問題など地域の課題に向き合い、将来への道筋を探ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域の防災に役立つ情報を継続して発信</li> <li>◇局内各グループの最初動対応を想定して訓練を実施</li> <li>◇放送設備と後方支援の充実・強化</li> <li>◇北海道一体運用の深化と帯広局・北見局との連携強化</li> <li>◇北方四島での共同経済活動など領土問題で地元の思いを発信</li> <li>◇地域の課題を掘り下げて解決策を提起</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の応援団”NHK北海道”として、放送やイベントで釧路・根室地方の活性化に貢献します。視聴者との結びつきを強め、受信料制度への理解を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇開局80周年と北海道150年を機に地域の歴史と宝を次世代へ</li> <li>◇雄大な自然や多彩な生き物、豊かな食の魅力を全国・海外へ</li> <li>◇スーパーハイビジョン本放送に向けたコンテンツ制作と普及活動</li> <li>◇BSドラマ「遙かなる山の呼び声」の広報・営業支援展開</li> <li>◇第50回NHK杯アイスホッケー大会などで地域スポーツ応援</li> <li>◇視聴者との新たなネットワークづくりに挑戦</li> <li>◇本部・拠点局の新たなインターネットサービスへ参画</li> <li>◇北海道東営業センターとの情報共有・連携の強化</li> <li>◇放送・イベントで視聴者とつながり深めて営業活動を支援</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進し、活力ある業務体制・職場環境の実現に向けて、“NHK北海道”の最適な運営を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇働き方改革宣言の推進</li> <li>◇上司と部下が互いに理解・納得した適正な勤務管理の実現</li> <li>◇働き方と業務の進め方を変えていく意識を職場で共有</li> <li>◇職場のコミュニケーションや交流で風通しのよい職場づくり</li> <li>◇公共放送人としての自覚を深めコンプライアンスを徹底</li> <li>◇モチベーション向上と人材育成のため拠点局と交流・連携強化</li> <li>◇北海道の最適な組織のあり方を道内7局で検討</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 北見放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	北海道7局が組織の垣根を越えて一体となって業務に取り組み、いざという時に地域の防災や安全・安心に役立つ信頼できる情報を伝えます。また、地域を応援する放送サービスやイベントを効果的に実施して、身近な放送局として地域の活性化に積極的に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害・緊急報道に万全を期し、防災・減災意識を高める放送や啓発活動を展開。</li> <li>◇公平・公正で正確・迅速な報道を徹底。</li> <li>◇地域の課題やニーズに向き合い、地域の価値や魅力を全道・全国に発信</li> <li>◇北海道150年で地域の歴史を探り、地域重点月間や「I LOVE JIMOTO」で地域を応援。</li> <li>◇公開派遣番組、イベントや広報の効果的な展開。</li> <li>◇SHV番組の制作ノウハウや映像素材を蓄積。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「NHK北海道」一体の取り組みのもと、2020年度末で全道「支払率75%」「衛星契約割合50%」の達成を目指して、受信料の公平負担の徹底に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道北営業センターと連携し、効果的な営業施策を展開。</li> <li>◇放送や広報・イベントを通じて視聴者との結びつきを強化し、受信料制度の理解を促進。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料の重みを常に意識し、適正経理やコンプライアンスの徹底を推し進めます。また、働き方改革を推進し、活力ある業務体制・職場環境の実現に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇的確なリスクマネジメントのもと、引き続き、コンプライアンスの徹底施策を実施。</li> <li>◇少人数職場での効率的な業務改革に取り組み、「働き方改革宣言」とワーク・ライフ・バランスの実現を推進。</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 室蘭放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全・安心の拠点として、災害・緊急報道、防災・減災報道に取り組むとともに、身近で関心の高い地域情報の発信や放送サービスの展開により地域の期待に応えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害・緊急報道に万全を期し、地域の安全・安心につながる情報を発信</li> <li>◇胆振・日高地方の様々な情報や話題を全道・全国に発信</li> <li>◇地域の課題やニーズに向き合い、将来展望を描く報道を強化</li> <li>◇インターネットを活用した地域情報の発信を強化</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域を応援する放送サービスやイベントで地域の活性化に貢献するとともに、受信料制度の理解促進を図り、支払率向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇北海道150年に合わせ、地域の歴史や文化の魅力を発信</li> <li>◇室蘭重点月間に胆振・日高地方に関連する多彩な番組を編成</li> <li>◇地域の特性を生かしたミニ番組制作とイベント展開</li> <li>◇公開番組やイベントなどの機会を活用した受信料制度の理解促進・支払率向上への取り組み</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	活力ある職場環境の実現に向けて働き方改革を推進するとともに、効率的な業務運営とコンプライアンスの徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇働き方改革を浸透させ勤労休暇取得と総労働時間抑制を促進</li> <li>◇北海道一体運用と関連団体等多様なパワーとの連携・活用による効率的・効果的な業務運営</li> <li>◇適正経理やタクシー券の適正使用など、コンプライアンスの徹底に向けた施策を継続実施</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



放送局の目標 [2018年度]

局名 仙台放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	東日本大震災の風化を防ぎ、復興を支援するとともにテレビ・ラジオ・ネットを活用したきめ細かい情報提供で地域の安全・安心を支えます。	◇番組やイベントなどを通じて震災の伝承や復興の後押しをする。 ◇いつでもどこでも必要な情報が得られるように放送の体制・訓練を強化する。 ◇視聴者目線を常に意識し、多様な視聴者の関心に応える。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	東北を活気付ける放送やサービスの更なる充実につとめて地域社会に貢献するとともに、新放送会館をより多くの人が利用できるよう整備します。	◇宮城はじめ東北の魅力を国内外に発信するとともに東北共通の課題を掘り下げ、問題提起や解決に向けた取り組みを伝える。 ◇新放送会館に設けた展示コーナー等の充実を図り、会館が地域の視聴者とのコミュニケーションの拠点となるよう努める。 ◇4K・8Kの魅力をより多くの人に知ってもらい普及を促進する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	「NHKグループ働き方改革宣言」の実現に取り組むとともに、コンプライアンスの意識を徹底します。	◇仙台局で働く一人ひとりが心身ともに健康で生き生きと働けるよう創造性と活気に満ちた職場環境を整備する。 ◇職場における情報共有につとめ、業務が正しく・効率的に行えるよう働きやすい職場環境作りにいっそう力を入れる。 ◇研修や勉強会を積極的に実施し、公共放送人としての自覚に満ちた職員の育成を推進する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 秋田放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	秋田の魅力を、日本へ、世界へ  秋田を日本全国に、世界に発信し、秋田を元気にします。	◇全国放送のニュース、番組で秋田を多様に発信します。 ◇国際発信に積極的に取り組み、インバウンドをはじめ地域経済の活性化に貢献します。 ◇秋田が誇る文化や財産をスーパーハイビジョンで発信、記録を未来につなぐものにしていきます。 ◇オールNHKの体制で、発信をすすめます。 ◇秋田への貢献で、業績確保を確かなものにします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	秋田のことを、もっと秋田に  秋田に向けたコンテンツの充実で、信頼され、親しまれる存在であり続けます。	◇基幹番組「ニュースこまち」の存在を、引き続き確かなものにします。 ◇新たな地域放送番組「きんよる秋田」をはじめ、地域に向けた放送を一層充実させます。 ◇放送からインターネット、イベントまで、地域の視聴者に向けた多様なサービスを提供します。 ◇地域サービス強化とともに、効率的な体制を構築します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	秋田に向き合い、ともに前へ  秋田の課題に向き合い、伝え、秋田のこれからを切り拓きます。	◇秋田の課題に向き合う番組やイベントを、県民のみならずとともにつくります。 ◇秋田の取り組みを全国に発信することで、日本全国が課題に向き合うことにつなげます。 ◇各地の動きを秋田に伝えることで、秋田が前に進む力にしていきます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	秋田の確かな、安全、安心  働き方改革をはじめとする確かな体制で、秋田のみなさんを守り、支えます。	◇迅速できめ細かな災害報道とともに、いざという時に備え、日頃からの訓練や報道を通じ、防災、減災報道に努めます。 ◇働き方改革をはじめとする業務改革を推進し、確かで安定した体制を構築します。 ◇受信料がライフラインを支えることの理解促進を進め、公平負担を推進します。 ◇組織は信頼が第一、コンプライアンスを徹底します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 山形放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	あらゆるツールを活用して正確で迅速な緊急報道を強化し、地域の安全・安心な暮らしを守ります。	◇台風や災害時に、迅速にL字放送を開始し、放送・インターネットを最適に活用して、身近できめ細かな防災情報を伝える ◇CATV事業者など外部とも連携してロボットカメラなどの体制を強化し、火山噴火、津波、豪雪などの災害に備える ◇大規模災害に全局態勢で取り組めるよう、訓練等で備える ◇気象情報の強化や企画等を通じて、防災意識を高める ◇18年目を迎えた放送無事故記録を継続し、県民に安定した電波を送り続ける	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	山形の魅力や課題を多彩なコンテンツと最新の技術で全国・世界に発信し、地域社会に貢献します。	◇平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜730をさらに充実させ、地域の人々のニーズにこたえるとともに、地域の課題や解決策を提起する ◇豊かな自然・歴史・文化・人々の暮らしなど山形の魅力を、4K8Kなど最新の技術も活用して撮影し、放送やインターネット、イベントなどを通じて全国・世界に発信する ◇大河ドラマなどを活用し、ゆかりの土地での広報展開やイベントへの協力、放送を通じて、地域の活性化に貢献する ◇東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地元ゆかりの選手やホストタウンを応援するとともに、地元のスポーツチームを積極的に取り上げ、スポーツで地域を盛り上げる	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革、業務改革、視聴者理解・公平負担を推進し、「信頼され親しまれる放送局」をめざします。	◇健康を最優先に考え、働き方を抜本的に見直して、総労働時間の削減と休暇取得を進め、創造性を発揮できる環境の実現をめざす ◇これまでの慣行を打破して、業務全般を不断に見直し、効率的で透明性の高い業務の進め方を追求する ◇コンプライアンスを徹底し、セキュリティなどリスク対策を強化する ◇全局一体となって受信料制度の理解促進に努め、受信料の公平負担を推進する ◇本放送が始まる4K8Kの普及促進や、ホームページのコンテンツの充実に取り組み、幅広い世代の視聴者との接触を高める	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 盛岡放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「命と暮らしを守る」報道に全力を挙げ、東日本大震災などの被災地の再生の課題や取り組みを積極的に発信し、「記憶の風化」とたたかい、復興を応援します。	◇放送を太い幹としつつインターネットを活用するなどして、生活圏を意識した一人ひとりに届く防災・減災報道を実施します。 ◇日々の気象情報を強化し、防災・減災に資する番組を制作・放送することにより、人々の防災意識の向上に貢献します。 ◇東日本大震災や平成28年の台風10号などの被災地の課題、取り組みや魅力を継続的に取り上げ、全国・海外に発信します。県外からの来訪者や沿岸と内陸の交流人口の増加につながるよう取り組みます。 ◇親しみやすいラジオの一層の強化を図り、聴取者のすそ野を拡大します。 ◇計画的な訓練や設備整備により、引き続き報道実施体制の強化を図ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域に寄り添う放送・サービスを効果的に強化し、岩手の魅力を全国・海外にも発信し、課題と正面から向き合っ、地域の活性化に貢献します。	◇「おぼんですいわて」と原則月1本制作する「再発見いわて」などにより、地域の課題や魅力を積極的に発信し、さまざまな世代に届けます。効果的に全国放送につなげます。 ◇ニュースの字幕の強化など、人にやさしい放送を実施します。 ◇全国放送番組などを活用して、「いわてにおいてよ」キャンペーンを展開します。 ◇ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピックなどを見据え、アスリートや地元チームを積極的に取り上げ、応援します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	コンプライアンスを徹底し、創造と効率を追求する事業運営を一層進め、視聴者のみなさまの信頼と期待に応えて、開局80年の地域とともにある放送局としての存在感をさらに高めます。	◇効果的な営業や事業の活動を通じ、公共放送への理解の促進と公平負担の徹底に取り組みます。 ◇コンプライアンスや放送倫理を徹底します。 ◇「生産性の向上に繋がる働き方改革」や新しい制作手法の開発などを進め、公共放送人を育む創造と効率を追求する組織をつくります。 ◇公共放送の番組や情報をより広く視聴者に届けるための広報を強化します。 ◇地域指標調査などを生かし、効果的に番組を編成・制作します。 ◇開局80年を踏まえて、地域における公共放送の役割を見つめ直し、地域に寄り添う放送・サービスを実施します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名	福島放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	東日本大震災と福島第一原発事故からの復興に関する報道・番組に全力で取り組みます。その際、課題とともに、前向きな話題や懸命に復興に取り組む人たちの姿も積極的に取り上げます。公共放送の使命である「命と暮らしを守る」防災・減災報道をさらに充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇基幹ニュース「はまなかあいつTODAY」の一層の充実と視聴率アップ</li> <li>◇県域番組の本数増加と内容の一層の充実</li> <li>◇今次3か年経営計画最終年度の「震災10年」を睨んだ関連ユース・番組の展開と内容の一層の充実</li> <li>◇テレビだけでなく、ラジオやインターネットを使った防災・減災情報発信の拡充</li> <li>◇広域な県内全域における安定送出と電波確保の実現</li> <li>◇緊急報道に関する技術面での体制整備</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	美しい自然や伝統文化、美味しい食や酒など、福島の多彩な魅力を県内外および海外に発信します。そのためにテレビ・ラジオ・インターネット、イベントといった多様なメディア・手段を活用します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇基幹ニュース「はまなかあいつTODAY」の一層の充実と視聴率アップ</li> <li>◇県域番組の本数増加と内容の一層の充実</li> <li>◇より柔軟な編成による本部が制作した番組の再利用や自局制作番組の再放送の活用</li> <li>◇国際放送による海外発信の強化</li> <li>◇インターネットによる情報発信の一層の充実</li> <li>◇「桜フォトコンテスト」の充実と海外展開の実現</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	より活力と創造性に富んだ職場環境の構築とワークライフバランス実現のために「働き方改革」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇総労働時間の対前年度比削減と休暇取得日数の増加</li> <li>◇労働時間削減と「働き甲斐」を両立させるための業務の棚卸しとより効率的な仕事の進め方の追求</li> <li>◇オフィスレイアウトの変更等による職場環境および能率の向上</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	公共放送として視聴者に信頼されるためにコンプライアンスを徹底させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全局体制によるコンプライアンス強化の徹底</li> <li>◇円滑なコミュニケーションの推進による「より風通しの良い職場」の構築</li> <li>◇次回の内部監査におけるAグレード以上の獲得</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
5	全局体制で営業成績の向上に取り組み、受信料の公平負担を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇受信料支払い率および衛星契約割合の1ポイント超の向上および7年連続の「全目標」達成</li> <li>◇法人委託の拡大とコンプライアンス面を含めたスタッフの教育・指導の強化</li> <li>◇営業部と放送・技術・企画編成各々が連携した全局体制による営業活動の推進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 青森放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	青森のみなさまの安全・安心に資する、防災・減災情報の提供や緊急報道を実施します。	◇災害が発生・予想された場合に、関連各機関と連携して迅速で正確な情報を提供 ◇テレビやラジオ、L字やデータ放送、インターネットなど多様な伝達手段の活用 ◇東日本大震災など過去の経験を活かす、防災・減災関連のニュース・番組を制作 ◇災害時の情報提供を確実にできる、安定送出／電波確保／受信環境の体制の整備 ◇緊急時の対応体制や対策手順の整備と確認、それらをふまえた定期的訓練の実施	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域のみなさまに役立ち元気をもたらし、ニーズに応えるコンテンツやサービスを提供します。	◇視聴者層拡大のため、平日の夕方や金曜夜のテレビ、週末のラジオを中心に充実 ◇地域に貢献するため、課題を多角的にとらえ、対策をさぐり、わかりやすく提供 ◇豊かな自然や文化、食材、言葉など、青森ならではの魅力を紹介する番組の充実 ◇地域活性化のため、伝統芸能、特産物、観光、青函連携などを全国や海外に発信 ◇東京オリンピック・パラリンピックやSHV放送など、新たな事項を地域で展開	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	より効率的で透明性の高い組織を目指すとともに、視聴者理解と公平負担を推進します。	◇コンプライアンスやリスクマネジメントを向上させ、より健全な組織運営を実施 ◇より創造性を発揮できる新鮮な職場を目指し、働き方改革やグループ運営を推進 ◇信頼される情報拠点となるため、個人情報保護や情報セキュリティなどを実施 ◇地域に根差した営業活動と丁寧な説明で、受信料制度への理解や公平負担を向上 ◇地域の要望に応えるイベントの実施や会館運用により、視聴者との繋がりを強化	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 長野放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	県民の「命と暮らしを守る」防災・減災報道に全力で取り組むとともに、地域の魅力や課題を広く発信し、視聴者の期待に応える公共メディアを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ハードとソフト両面で、防災・減災報道への準備・訓練</li> <li>◇発災時にはマルチ発信を念頭に、全局態勢での取り組み</li> <li>◇信州の魅力を発掘・再発見して国内外に発信し、地域をもりたてる</li> <li>◇少子高齢化など地域の課題を掘り起こして提起</li> <li>◇地域のスポーツを応援</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	視聴者の皆さまと双方向でコミュニケーションを深めながら、受信料の公平負担徹底に向け全局を挙げて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇県土の魅力をケーブル局などとの協力で紹介するキャラバンや放送連動のイベント展開など視聴者サービスと一体になった営業を展開</li> <li>◇インターネットやデータ放送も活用し、視聴者のみなさまと双方向のコミュニケーションを推進</li> <li>◇全局体制による営業業績の確保</li> </ul>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求
3	働き方改革とコンプライアンスの徹底に不退転の決意で取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇業務の改革やスクラップを進め、長時間労働を抑制</li> <li>◇外部スタッフを含めNHK業務に携わるすべての人がいきいきと活躍できる職場環境を実現</li> <li>◇研修や勉強会を継続しコンプライアンス意識を徹底</li> </ul>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>

放送局の目標 [2018年度]

局名 新潟放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	新潟県民の命と暮らしを守る情報拠点としての役割を果たします。	◇防災・減災のための情報を、さまざまなツールを駆使して、いち早く、きめ細かく、視聴者に発信。 ◇放送設備のハード面の整備、訓練、マニュアルの不断の改善。 ◇人口減少、農業、原発再稼働など、地域の課題の掘り下げ。 ◇利害や意見が対立する案件も積極的に多角的に伝え、課題解決や合意形成に貢献。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	新潟県の魅力や強みを県内・国内・世界に伝え、地域の活性化に貢献します。	◇新潟の食や自然、ものづくりや文化、人や風土を再発見するニュース・番組。 ◇佐渡鉱山の世界遺産登録、新潟開港150年、長岡開府400年など地域の動きを放送・イベントを通して応援。 ◇サッカー、バスケ、大相撲などのプロスポーツ、東京五輪・パラリンピックをめざすアスリートについての情報発信。 ◇4K・8Kでより魅力的に、全国放送・国際放送を通してより広く、新潟の魅力を発信。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者の皆様に、公共放送と受信料制度への理解と納得感をより深めていただきます。	◇最高裁判決の「国民の知る権利を充足し、民主主義の健全な発達に寄与する」放送・事業となっているか、たゆまず自己点検。 ◇ハートプラザや営業現場等に寄せられた視聴者の声を真摯に受け止め、放送・事業の改善に積極活用。 ◇610キャラバンや公開放送番組、事業を全局態勢で実施し、視聴者との結びつきを強化。とくに現役世代を強く意識。 ◇ケーブル事業者や自治体等と連携強化。効率的な営業態勢構築。 ◇全局態勢で営業全目標を達成。そのプロセスも全局で共有。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	すべての職員・スタッフが公共放送人として高いモラルを持ち、創造的に効率的に元気に働く職場にしていきます。	◇610キャラバンや視聴者参加番組等で、視聴者の期待と信頼を実感する機会を増やし、公共放送人としてのモラル醸成。 ◇経理や勤務ルールを熟知し、コンプライアンス順守。放送法、放送ガイドラインを熟知し、放送倫理を順守。 ◇業務フローの見直しやスクラップ、新しいツールも活用し業務の効率化を不断に実施。労働時間の縮減、休暇の増加を実現。 ◇風通しの良い、活力にあふれた職場環境の実現。業務スキルに加え、人間力向上も意識した人材育成。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 甲府放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	山梨県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を尽くすとともに、地域が直面する課題に向き合います。	◇災害時には「L字ファースト」で情報提供するとともに、データ放送・インターネットでのマルチ発信を行う。 ◇平日午後6時台、金曜午後7時台をさらに充実させ、地域に貢献する放送を進化させる。 ◇若者の県外流出、産業の活性化、富士山の環境保全など地域の課題に向き合い、解決の糸口を探る。 ◇気象コーナーの更なる充実を図り、平時から防災・減災に役立つ情報を積極的に発信する。 ◇富士山噴火に備え、ロボカメ設置など体制を強化する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	山梨の魅力を首都圏、全国、世界に発信し、地域活性化に貢献するとともに、地域に親しまれる放送局を目指し、受信料制度の理解促進と衛星放送普及、4K8K本放送のPRに努めます。	◇ニュース、番組を通して、山梨の魅力を首都圏、全国、世界に積極的に発信する。 ◇甲府市開府500年、明治150年等にあわせ、地域の歴史や伝統、文化などを取り上げ、ふるさと再発見につなげる。 ◇「ヴァンフォーレ甲府」や郷土出身力士、東京オリンピック・パラリンピックに向けた動きなどを伝え、地域のスポーツ振興に貢献する。 ◇ハートプラザ等を活用し、イベントや広報活動を通して、視聴者との結びつきを強化する。 ◇4K8K本放送に向け、様々な手段でPRに努める。 ◇放送受信料の支払率・衛星契約割合等の更なる向上を図る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進し、NHKで働くすべての人が創造性を発揮してのびのび働ける職場を作ります。	◇業務の改革やスクラップを進め、効率的な働き方で長時間労働等を抑制し、休暇取得を促進する。 ◇事務管理部門業務の一部を集約化、委託化し、地域サービスの強化や業務の高度化を実現する。 ◇受信料の重みを認識し、コンプライアンスの徹底と適正経営を推進する。 ◇ITセキュリティーの向上等に努めるとともに、職場のコミュニケーション活性化の施策に取り組む。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 横浜放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	地震、大雨、大雪などの災害時に、的確な情報を迅速に発信して防災・減災をめざすと共に、県内各地域のライフライン情報を取得し、効率的に発信する仕組みを整えます。	◇「災害ハンドブック」に加えてわかりやすい「初動マニュアル」を整備。内容を定期的に見直し、新たな課題を検討します。 ◇災害時における職員の担務を明確化し、ライフライン放送の訓練なども全局的に行います。 ◇ライフライン情報のやりとりなど自治体との関係を強化します。	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	神奈川県内の地域的、社会的課題を掘り起こし、その背景や影響、解決への道をわかりやすく発信します。また地域や人々の魅力や新しい動きを全国、世界に発信していきます。	◇事件事故に迅速に対応すると共に社会的課題を浮き彫りにし、その問題点や解決方法などをわかりやすく伝えます。 ◇「多様な人々が共に生きる社会」への取り組みを伝えます。 ◇地域発ドラマや県内のスポーツ、紀行番組などを通じて、神奈川県内の魅力を発信します。	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
3	従来の公開番組やイベントに加え、地域に応じたイベントを開発して地域の活性化に寄与すると共に、横浜局の放送・事業・営業の連携、さらに本部との連携をはかりながら、視聴者理解と受信料の公平負担を進めます。	◇県域FMや地域イベントと連動したジャズライブやJポップライブを行います。 ◇営業と放送(県域FMや全中番組)が連携する新しいイベントを開発し、受信料公平負担への理解を進めます。	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求
4	各職場の業務と目標を常に明確化し、相談しやすい職場風土を醸成することで、職員ひとり一人の創造性とモチベーションを高めます。明確な目標と細やかな勤務管理により、効率的な働き方と健全な経営を追求します。	◇各職場の若手職員が参加するJプロ、営業3センター統括会議など組織を横断して集う場を設け、新しい発想や取り組みの実現化と業務効率化をはかります。 ◇マネジメント、コンプライアンスなどの勉強会を開催します。 ◇ワークプロデューサーによる適正な勤務管理と効率的な働き方をさらに進めます。	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 前橋放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	きめ細かい情報提供と緊急報道、設備整備により、地域の安全安心に寄与して、“ふるさと”群馬の自然や農業、歴史、2020への動き、また若者の活躍、外国人との共生等の話題を内外に発信し、地域活性化をめざします	◇県域放送をさらに充実させ地域の多様な魅力話題を内外に発信する ◇緊急災害報道に放送・技術をはじめ局全体で取り組むとともに、県域放送の安定送出にむけて設備更新・点検を強化する ◇農業や自然、労働問題など群馬が直面する課題を掘り下げる ◇東京五輪にむけた県民の思いや若者の活躍をとりあげ、ふるさと群馬を元気にする	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	働き方改革を推進し、一人ひとりが健康で創造的に仕事を進め、コミュニケーションが活発にできる職場であること、そして公共メディアに携わる中で、コンプライアンスへの意識をより一層高めるよう取り組みます	◇めりはりのある働き方の実現に向けて、古い考え方にとらわれず大胆な発想で業務の見直しに取り組む。また適切な勤務管理で職員スタッフそれぞれの健康を確保する ◇それぞれが互いに関心を持つ職場であるように、またコミュニケーションがより活発におこなわれるよう職場の雰囲気づくりを進める ◇コンプライアンス意識をより高めるよう取り組みを進める	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	公開収録やイベントの機会に、県民との対話を通じて受信料の公平負担への取り組みを進めます。スーパーハイビジョンの公開やインターネットを活用した視聴者サービスを強化し、県民の期待に応えるNHKをめざします	◇公開収録等イベントやインターネット等あらたなツールでNHKの取り組みをより知ってもらうようPRに努める ◇外国人も含め県民のNHKに対する意見や思いも受け止め、対話を重ねて受信料の公平負担に向けて一層取り組む ◇視聴者にスーパーハイビジョンの魅力を感じてもらい、普及を促進する	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 水戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	私たちは全力を尽くします！ ～茨城県民の”いのち”と”くらし”を守るため～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇災害報道や緊急報道への対応力強化</li> <li>◇普段の防災情報、災害時の情報、災害後の復興情報を的確に提供</li> <li>◇地域の課題を掘り下げ、判断のよりどころとなる番組、企画を制作</li> <li>◇世界湖沼会議・茨城県議会議員選挙に的確に対応</li> <li>◇データ放送やインターネットを活用した情報発信</li> <li>◇放送の安定送出と受信環境の整備</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	私たちは全力を尽くします！ ～茨城県を活力ある地域にするため～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇生活に密着した多彩な情報を提供</li> <li>◇豊かな自然や文化など、茨城県の魅力を掘り起こし、県内外、さらに世界に発信</li> <li>◇伝統の継承、文化の向上にむけた取り組みを支援</li> <li>◇大相撲やサッカー、高校野球など地域のスポーツを支援</li> <li>◇茨城国体、オリンピックに向けた取り組みを支援</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	私たちは全力を尽くします！ ～協会と受信料制度への理解向上のため～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全営業目標の達成</li> <li>◇放送、イベント、営業の連携を強化</li> <li>◇県西・県南の県域放送受信率向上</li> <li>◇SHVの普及促進</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	私たちは全力を尽くします！ ～よりよい職場環境と人材育成のため～	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇長時間労働の抑制、休日確保など働き方改革の推進</li> <li>◇コンプライアンスの徹底</li> <li>◇活力ある風通しのよい職場環境作り</li> <li>◇適切な外部パワーの活用とコミュニケーション推進</li> <li>◇新しい時代を担う人材の育成</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 千葉放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の「安全・安心の拠点」として放送とデジタルサービスを駆使して、防災・減災・緊急報道に全力を尽くすとともに、地域の課題を掘り下げ、役立つ情報を伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇県域FM放送とデジタルサービスのさらなる充実と周知</li> <li>◇災害時を想定した定期的な訓練の実施と自治体や民間FM局との連携</li> <li>◇被災地を継続取材し、復興の課題・教訓を伝え緊急時の備えとなる放送をめざす</li> <li>◇地域が直面するさまざまな課題を取材し、解決へのヒントを探る</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	県内の豊かな自然や歴史・文化・人をテーマに、多彩なコンテンツを展開し、全国・世界に発信し、地域の活性化に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇2020東京オリンピック・パラリンピックを見すえて、スポーツ情報や地域の動きを多様に伝える</li> <li>◇成田空港や豊かな観光資源を意識し、全国や世界に向けて千葉をアピールする</li> <li>◇新しいツールをいかしながら千葉の魅力を発信する</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	多彩な公開番組やイベントを展開し、“地域とつながる”取り組みを展開して放送局の存在感を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇開局75周年を機に、公開番組やイベントを放送会館や県内各地で展開する</li> <li>◇FM県域放送やインターネットを通じて千葉の魅力を多角的に発信する</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
4	「働き方改革」などを通じて、創造性を発揮できる環境を確保するとともに、コンプライアンスを徹底し、信頼される放送局として地域に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「働き方改革」を進める、創造性の発揮できるより良い職場環境を構築する</li> <li>◇コンプライアンスを徹底し、NHKに対する信頼をいっそう強くする</li> <li>◇受信料制度の理解促進、受信料の公平負担の徹底に努める</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 宇都宮放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力を挙げて地域の安全・安心に寄与し、信頼される放送局を目指します。	◇事件・事故・災害など緊急報道のための体制を強化する。 ◇データ放送・HPなど、さまざまなメディアにより気象・災害情報、関連情報を発信する。 ◇災害に対応するためのマニュアルを不断に見直し、訓練を行うことで災害に備える。 ◇安定送出と電波確保につとめ、いかなる時も放送を安定的に届ける。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	栃木の魅力を県内に広めるとともに国内外に発信し、地域の活性化に貢献します。	◇「とちラブ」キャンペーンを継続し、県域テレビ放送の存在感を高める。 ◇栃木県の自然、文化をはじめ、経済、医療、スポーツなど幅広い情報を発信し、県民の要望に応える。 ◇デジタルコンテンツや最新技術を応用し、多様な表現で地域放送の充実に挑戦する。 ◇正確・迅速な選挙報道に取り組む。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者の理解促進を進め、受信料の公平負担に取り組むとともに、働き方改革などを通じて、創造性を発揮できる職場を作ります。	◇法人事業者の活用やケーブルテレビ・特約店との連携を強化する。 ◇営業課題を全職員が認識し、「チャレンジ80+」をはじめとする営業支援の番組やイベントを展開する。 ◇働き方改革推進の取り組みを進め、ワークライフバランスの推進を図る。 ◇適正経理推進月間の継続実施などにより、コンプライアンスの順守徹底および適正経理の推進につとめる。 ◇質の高い公開イベント・番組を開発し、多くの視聴者とふれあい理解促進を進める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



放送局の目標 [2018年度]

局名 さいたま放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安全で安心な暮らしと、「埼玉に暮らすことの誇り」を大切にしたい情報の発信を強化し、地域社会の活性化に貢献します。	◇防災や減災につながるニュースや番組、インターネットでの情報発信に努めるとともに、首都直下地震などに備えた報道別館が円滑に運用できるよう本部、北関東3局やOBと連携して体制整備や習熟訓練に取り組む。 ◇東日本大震災の被災者や復興を支援する放送などを推進する。 ◇事件や事故の再発防止に資する情報発信に努める。 ◇国政選挙や注目される地方選挙で迅速な開票速報を行うとともに、地域や行政の課題を的確に伝える。 ◇地元・埼玉の魅力を掘り起こし、全国放送や国際放送などに展開させ、地域の活性化や文化の振興に貢献する。 ◇県域FM放送を強化して安全安心ラジオの普及を図る。 ◇公開番組やイベントを積極的に実施するとともに、インターネットの活用を進めて、双方向の視聴者コミュニケーションを充実させる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者の理解促進と受信料の公平負担を全局で取り組み、支払率、衛星契約割合の毎年度1ポイント向上を目指します。	◇地域スタッフの少数精鋭化や法人委託の開発・育成で、安定した契約収納業務体制を構築し、効果的・効率的な営業活動に取り組み、営業目標の着実な達成に努める。 ◇「チャレンジ80+」では、ラグビーワールドカップ2019と東京2020に向けた放送・イベントなどと連動した営業活動を積極的に展開し、全局的な取り組みで営業目標達成を目指す。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革を推進し、職員倫理とコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを強化します。	◇公共放送に携わる者として、より高い倫理観の醸成とコンプライアンスの徹底に努める。 ◇ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティに配慮し、風通しの良い、働きがいのある職場環境を整備する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 名古屋放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	人々の命と暮らしを守り、地域の課題や魅力を積極的に発信します	◇南海トラフ巨大地震への備え、記録的豪雨などの自然災害への対応を強化し、災害時のマルチ発信を的確に遂行 ◇愛知県知事選などの選挙報道では、公平・公正、正確・迅速な情報を提供 ◇平日夕方の情報番組を刷新するとともに、中部地方共通の課題に向き合う番組や東海3県向けの地域密着番組を制作 ◇中部地方の魅力を取り上げた番組を制作するとともに、4K・8Kにも積極的に展開 ◇ドラマやエンターテインメントなど幅広い世代の関心に応える多彩なジャンルの番組を制作 ◇地域のスポーツやアスリートを積極的に取り上げ、「東京2020」に向けて、地元ゆかりのアスリートを応援	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者サービスを充実させ、支払率・衛星契約割合の向上に取り組めます	◇イベントなどの地域サービスや受信料の理解促進に全局体制で取り組み、幅広い世代の視聴者との結びつきを強化 ◇12月の4K・8K本放送開始に合わせ、普及活動を展開 ◇より効率的、効果的な営業活動の推進により、受信料の公平負担を徹底	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	創造性を発揮できる職場と信頼される放送局を目指します	◇名古屋放送局に関わるすべての人の健康に留意し、「NHKグループ 働き方改革宣言」を着実に遂行 ◇より効率的な業務運営を推進し、拠点局としての支援機能を発揮 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、リスクマネジメントを強化	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



放送局の目標 [2018年度]

局名 金沢放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	正確・迅速な報道に全力で取り組み、地域の人たちの暮らしと財産を守る公共放送としての使命を果たします。また、スーパーハイビジョンでの制作や石川県の魅力を海外に向けて発信する国際放送に積極的に取り組むなど、公共メディアへの進化を目指します。	◇防災・減災報道に取り組み、災害報道では逆L字を有効に活用しテレビ・ラジオ・HP・データ放送できめ細かい情報を発信する。 ◇放送の安定送出、電波確保に取り組むと共に、秋にオープンする新会館の移転業務を完遂します。 ◇スーパーハイビジョンによる放送やイベントを行うと共に石川県の文化や伝統工芸など優れた魅力を全国世界に発信していきます。 ◇受信料の公平負担と支払い率・衛星契約の増加を目指すと共に受信料制度の理解促進に向けたイベントや公開放送などを行います。 ◇職員やスタッフのコンプライアンスの徹底を図ると共に様々なリスクに向けた対策を行います。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	北陸新幹線開業4年目を迎えた石川県の課題に向き合うと共に東京五輪パラリンピックに向けて番組やイベントで地域を盛り上げていきます。また地域改革を実現するために、新会館に移転する下半期から地域発ドラマをはじめアーカイブス番組などの特別編成を組みローカルサービスを強化していきます。	◇ニュース情報番組では「かがのとイブニング」を主軸に県内の様々な課題や話題を掘り下げ地域サービスに努めます。 ◇番組では「北陸スペシャル」を強化し北陸3県へのサービスを高めます。 ◇新会館移転をきっかけに地域発ドラマを4Kで制作。また全中の公開番組や各種イベントを行うと共に下半期から石川県にゆかりのアーカイブス番組を編成し視聴者の期待に応えていきます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	職員の命と健康を守る働き方改革に全力で取り組みます。放送などの質を落とさず改革を実現するために従来の制度やシステムを見直し業務の負担を軽減していきます。またこれまでの働き方そのものの意識を改め聖域なく業務を改革していきます。	◇北陸3局泊まりで記者の負担を軽減すると共に健康管理時間を徹底します。 ◇編集マンの活用や文字起こし装置などを導入してPDの業務負担軽減を行います。 ◇新会館移転作業においては過酷な業務が予想されるが働いた後はしっかり休日取得を行うなど計画的でメリハリの利いた勤務管理を行います。 ◇働き方改革を実践すると共に若手の人材育成に尽力します。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 静岡放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心な暮らしに貢献する防災・減災情報の発信拠点として、いかなる災害の際にも的確な放送・サービスを展開し、正確な情報を迅速かつきめ細かく発信します	<p>◇台風、大雨や河川の氾濫、竜巻などの災害が発生した場合、地域の皆さまが必要とする正確な情報を、放送やインターネットで迅速かつきめ細かく発信します。情報発信を早めを開始して備えを呼びかけ、地域の防災・減災に貢献します。</p> <p>◇巨大地震や大津波、富士山噴火など、大規模災害が発生した場合にも的確に放送・サービスが展開できるよう、マニュアルを不断に見直し万全の備えを進めていきます。</p> <p>◇新放送会館を安定運行するとともに設備整備も進め、地域の皆さまを守る情報発信拠点として強靱な体制を構築します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域改革を推進して静岡県の活性化・課題解決・質の高い文化創造に貢献し、NHKの地域での存在感をさらに高めるとともに、より多くの視聴者の皆さまにとって、身近で役に立つ放送・サービスを展開していきます	<p>◇年間キャンペーン「静岡から世界へ」を通じて、静岡県の様々な魅力を全国へ、そして世界に発信していくとともに、放送と連動したイベントを県内各地で展開します。</p> <p>◇地域経済の停滞、人口減少と少子高齢化、富士山の環境保全など地域の課題に正面から向き合い、解決策を模索することで地域活性化・課題解決に貢献します。</p> <p>◇各種調査を実施して地域の視聴者ニーズを的確に把握し、610を充実させ、金曜730の県域放送を増やすとともに、地域発ドラマも制作し、地域における存在感を高めていきます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	活力あふれるクリエイティブな職場とするため、既存業務を見直し、新放送会館の最新のITオフィス環境を生かした効率的でやりがいのある新たな働き方の創出を目指します。コンプライアンスを徹底させるとともに、受信料制度の理解促進と公平負担の徹底を地域放送・サービスの充実とも連携させながら推進します	<p>◇既存業務を見直し、新放送会館の最新のITオフィス環境を生かして、効率的でやりがいのある、ポジティブで新しい働き方の創出を目指します。職員業務の高度化と職員一人一人が成長を実感できる人材育成を行い、活力あふれるクリエイティブな職場作りを進めます。</p> <p>◇地域の皆さまの受信料制度への理解促進と公平負担の徹底を、地域改革による放送・サービスの充実とも連携させながら推進していきます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 福井放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守る報道とともに、地域の課題解決や福井の魅力を発信し、地域社会に貢献します。	◇大雪、豪雨などの自然災害、原子力災害への備えや自治体の動きなどをきめ細かく取材する。 ◇人口減少などの課題解決につながる企画や幕末明治150年、国体、永平寺、旬の食材など、地域のもつ魅力を国内外に向けて発信する。 ◇地域放送改革のパイロット局であることを意識して、果敢なチャレンジを試みる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	放送の安定送出に努め、本放送が始まるSHVの普及促進を積極的に行います。	◇次期運行設備を計画的な工事で配備し、12年連続無事故につながるよう安定送出を徹底する。 ◇4Kでのコンテンツ制作を積極的に取り入れ、8Kモニターの移動展示とあわせて、本放送に向けSHVの普及促進を図る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革で創造性ある現場を生み出します。コンプライアンスの徹底を図りながら、業務の効率化も模索します。	◇働き方改革では様々な試行錯誤を行い、やりがいのある、メリハリの利いた職場を生み出すよう尽力する。 ◇公共放送に求められるコンプライアンスの徹底を図りながら、事務改革のパイロット局として、業務改革の取り組みを行う。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	受信料の公平負担の徹底に取り組み、公共放送としての役割を果たします。	◇特に衛星契約や未収削減に努め、公平負担の徹底に取り組む。 ◇公開収録の活用、放送部との連携、CATVとの協力体制をさらに強化するなどして、9年連続全営業目標達成に向けて、地道な努力を続ける。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 富山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	多彩なコンテンツの充実を通じて、地域の魅力を全国・世界に発信し、地域社会に貢献します。	◇地域の新たな魅力や課題を発掘し、地域はもちろん、全国・世界に発信。 ◇「多様性」をテーマに、誰もが輝ける社会を実現するための取り組みを実施。 ◇「東京2020」や「SHV」関連イベントなどを通し、視聴者と直接触れ合う機会を増やし、結びつきを強化。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	人々の安全・安心を守り、地域の課題に向き合う放送・サービスをより充実させます。	◇地域の課題に正面から向き合い、事件事故、経済、行政、文化などさまざまな側面から多角的なニュース・番組を展開。 ◇地域の安全で安心な暮らしを守るため、防災・減災、緊急報道を充実・強化。マルチ発信など多様な伝送路を活用し、視聴者に役立つきめ細かい情報を提供。 ◇選挙報道を公平・公正、的確に実施。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンスを遵守し、ワークライフバランスに配慮した働き方改革を進めます。 不断の業務改革を行い、受信料の公平負担の徹底をめざします。	◇より一層のコンプライアンス意識の醸成を進めるとともに、局内のリスク管理体制を強化。 ◇ワークライフバランスへの配慮や効率的な業務改革に取り組み、働き方改革を推進。 ◇公共放送への理解促進活動を通じた受信料の公平負担の徹底。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 津放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の安全・安心を守る公共放送として災害報道に全力をあげるとともに、三重県の魅力を国内外に発信し地域の活性化に貢献します。	◇災害報道、事件事故などの緊急報道への体制強化を図ります。 ◇南海トラフ大地震への備えとして防災・減災情報を定期的に発信し、県民の生命と安全を守ります。 ◇「まるっと！みえ」などの地域放送番組を通じて地域の課題に向き合うとともに、地域の魅力を国内外に発信します。 ◇4K・8K・インターネットなどさまざまなメディアを生かして、放送・技術一体となり質の高いコンテンツ制作を行います。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	番組やイベントを通じて公共放送の理解促進に努め、受信料の公平負担の徹底に努め、地域の皆様に親しまれる放送局を目指します。	◇各々が積極的に営業支援を行い、チャレンジ80+に取り組みます。 ◇会館公開や番組連動イベントなどを通じて視聴者との結びつきを強め、公共放送の理解促進を図ります。 ◇法人事業者、ケーブルテレビや特約店との連携により、さらなる取次ぎ実績の向上に努めます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンスの徹底を図り、職員・スタッフひとりひとりの働き方改革への意識を醸成し、創造的に働ける職場作りに努めます。	◇働き方改革に向けた取り組みを進め、ワーク・ライフ・バランスの実現に努めます。 ◇公共放送で働く者としての意識を向上させ、適正経理の推進とコンプライアンスの徹底を図ります。 ◇風通しのいい職場環境を作り、創造性と活力のある職場作りを進めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名	岐阜放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	地域の安全・安心の拠点として、防災・減災報道に万全を尽くすとともに、地域の課題に向き合う確かなニュースと番組で、視聴者の皆さまからの信頼に応えます。	<p>◇災害発生に備えた訓練を重ね、地域の方々の命と暮らしを守る災害報道とインターネットを含めた情報発信に全力で取り組む。</p> <p>◇地域の課題解決への道を探り、また、地域の魅力を再確認し、地域社会の活性化に貢献する。リニューアルした「630」の各コーナーを通じて、あるいは既放送番組を活用して、適確に地域の視聴者に伝える。</p> <p>◇選挙関連の情報や争点をわかりやすく伝え、公平・公正で的確な選挙報道を行う。</p>	“公共メディア”への進化 <span style="float: right;">✓</span>
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進
			創造と効率、信頼を追求
2	地域の文化・創造の拠点として、地域の魅力を国内外へ発信し、地域社会を応援します。	<p>◇「630」レポートを活用し、豊かな自然、長い歴史に育まれた文化・伝統や歴史的遺産、地域とともに生きる人々の暮らしに注目し、その魅力を全国、世界へ発信する。</p> <p>◇視聴者参加の公開番組、4K制作番組など、幅広い世代の心をつかむ多彩な番組・イベントで地域の皆さまとの結びつきを強める。</p> <p>◇オリンピック・パラリンピック等で活躍が期待される選手、地域に根ざしたアマチュアスポーツなど、地域スポーツ情報を積極的に伝える。</p>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献 <span style="float: right;">✓</span>
			未来へのチャレンジ
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求
3	地域の情報発信の拠点として、公共放送の使命を全職員が自覚し、受信料制度の理解促進と効率的な業務運営に全局一丸となって取り組みます。	<p>◇番組やイベントと連携をはかり、支払率、衛星契約率のさらなる向上に注力する。</p> <p>◇岐阜県が舞台となる、平成30年度前期の連続テレビ小説放送を機に、自治体や地域の団体、CATV局等との協力態勢を強化し、地域の情報発信の核として、ステーションイメージを向上させる。</p> <p>◇インターネットの活用や、本放送が開始するスーパーハイビジョンの理解促進に努め、放送・サービスの新たな可能性に挑戦する。</p> <p>◇働き方改革の実践、効果的・効率的な業務推進に向けて、職員の意識改革を徹底し、心身ともに健全な職場環境を維持します。</p>	“公共メディア”への進化
			多様な地域社会への貢献
			未来へのチャレンジ <span style="float: right;">✓</span>
			視聴者理解・公平負担を推進 <span style="float: right;">✓</span>
			創造と効率、信頼を追求 <span style="float: right;">✓</span>



放送局の目標 [2018年度]

局名	大阪放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	安全・安心のよりどころとなるニュース・番組を提供するとともに、より信頼される”公共メディア”を進化させ、その基盤を整備します。	<p>◇本部のバックアップ機能の充実・強化と南海トラフ巨大地震など関西での災害時における情報発信に向けた機能強化・運用実施体制の充実。</p> <p>◇阪神・淡路大震災や東日本大震災の教訓を生かした震災報道や減災・防災・復興に役立つニュース・番組を、さまざまな伝送路を利用して地域・全国・世界に発信。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	魅力あふれる関西の活性化にむけて、地域に貢献し、地域により親しまれる多彩で質の高い放送・サービスを展開します。	<p>◇地域のかかえる課題、地方自治の動向などを的確にとらえ、判断のよりどころとなるようなニュース・情報を提供。</p> <p>◇ドラマ・芸能、歴史・文化、福祉、経済、科学・医療、スポーツやアジア関連情報などの放送を充実させ、地域や全国、さらに世界に発信。</p> <p>◇関西の豊富で貴重なコンテンツ素材を生かし、スーパーハイビジョンやインターネット展開など、新しいサービスを充実。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者のみなさまとの積極的なコミュニケーションを強化し、NHKの理解促進と公平負担の推進を図ります。	<p>◇より効果的・効率的な営業体制の構築や営業対策の拡充など営業改革を徹底し、全局一体となって受信料制度の理解促進に努め、受信料の公平負担を推進。</p> <p>◇地域に根ざしたイベントや広報など、視聴者との結び付きの強化に向けた双方向のコミュニケーションを通じて、NHKに対する親しみを一段と向上。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	「働き方改革」を一層すすめ、長時間労働に頼らない組織風土と、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の実現を目指します。	<p>◇業務改革やスクラップにより効率的な業務体制の構築を推進するとともに、職員一人ひとりが働き方を見直し、いきいきと働くことができる職場を追求。</p> <p>◇広域支援を強化し、地域サービスの充実と働き方改革に貢献。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底し、公共メディアを担う強じんな組織を構築。</p> <p>◇働き方改革とワークライフバランスを推進するため、オフィス改革などより働きやすい職場環境を整備。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名	京都放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	正確で信頼できる情報を早く、深く伝えるために全力で取り組むとともに命と暮らしを守る防災・減災報道や、地域の活性化につながる情報発信の充実・強化に努めます。	◇地震や台風などの防災・減災に役立つ情報発信や、事件・事故などの緊急報道を強化し、ホームページやデータ放送などでも、地域の安全・安心を守る情報をきめ細かく発信します。 ◇平日午後6時台のニュース・情報番組などで、各選挙の判断のよりどころとなる報道を行うとともに、京都が抱える課題や出来事などを丁寧に掘り下げ、分かり易く伝えることで、地域の活性化に資する放送を目指します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	多様な文化の発信地である京都の魅力を存分にアピールする番組や、スーパーハイビジョンコンテンツの制作に取り組み、京都局の存在感を強くアピールします。	◇国宝・重要文化財や世界遺産が集積し、国内外から注目される京都ならではの高品質な番組を制作し、古都の魅力を全国そして世界に発信します。 ◇スーパーハイビジョンで撮影する番組制作に積極的に取り組み、高精細画像の特性を活かした世界に通用するコンテンツを通して、京都の文化や歴史、芸術や伝統芸能を積極的にアピールします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料の公平負担の徹底に向けて、公共放送や受信料制度への一層の理解促進に取り組み、京都における支払率のさらなる向上を目指します。	◇すべての営業目標の達成に向けて、視聴者との接触を高める様々な施策に全局で取り組みます。 ◇地域発ドラマを通じて京都の魅力を発信するとともに、受信料収納活動および公共放送理解の促進に資する活動を展開します。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	働き方改革を実践し、長時間労働の抑制やダイバーシティー施策を推進し、創造性を発揮できる職場環境を確保するとともに、信頼されるメディアを目指しリスクマネジメントを一層強化する。	◇長時間労働に頼らない取材体制や番組制作が可能な組織風土を作り、職員にとって心身に健全な環境を構築します。 ◇効率的な業務運営と働き方改革を推進し、活力ある職場環境の構築に努めます。 ◇コンプライアンスの推進強化に努め、信頼の構築に一丸となって取り組みます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



放送局の目標 [2018年度]

局名 神戸放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	命と暮らしを守り、地域に資する放送・サービスで、視聴者のみなさまの期待と信頼に応えます	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇阪神・淡路大震災関連報道の継続、震災からの教訓の伝承</li> <li>◇防災・減災報道や緊急災害時対応機能の強化</li> <li>◇兵庫県の話題の多角的できめ細かい発信、地域の課題の検証</li> <li>◇放送の安定送出、受信環境の整備</li> <li>◇兵庫県や神戸市等自治体との連携等による地域社会への貢献</li> </ul>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	公共放送への理解促進と受信料の公平負担徹底を図り、視聴者のみなさまとの結びつきを深めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇営業目標の達成、過去最高の支払率の確保</li> <li>◇公開収録やイベント、放送等を通じた受信料制度への理解促進</li> <li>◇「トアステーション」の効果的な活用</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	公共放送にふさわしい人づくりと健全で多様な働き方を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇より高い倫理観の醸成と法令順守の徹底</li> <li>◇新しい時代を担う人材の育成</li> <li>◇適正な勤務管理と計画的休暇取得</li> <li>◇適切な外部パワーの活用とメリハリのついた業務運営</li> <li>◇ワーク・ライフ・バランスの実現</li> <li>◇活力ある風通しのよい職場環境作り</li> </ul>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 和歌山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「和歌山に貢献します」 質の高い多彩なサービスの実現に放送局をあげて取り組み、地域に貢献します。	◇大規模災害の発生時に被災者が求める災害・生活情報を正確かつ迅速に届ける。そのための設備強化、体制整備を継続する。 ◇地域の「防災放送局」として防災や減災につながる放送やイベントを実施。 ◇地域の魅力や特色ある取り組みを全国に発信し国際放送にも展開。 ◇満足度の高い番組やイベントで心豊かな地域社会実現に貢献。 ◇効率的機能的な業務を進め、質の高い多彩なサービスを提供。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	「つながりを深めます」 多様な取り組みで視聴者との絆を強め、地域の期待に応えます。	◇視聴者の要望や意向を受け止め、つながりを深める。 ◇公開番組やイベント、ホームページなど多様な取り組みで視聴者との絆を深め、NHKへの満足度や信頼を向上。 ◇幅広い世代に公共放送の役割や受信料制度への理解促進を図り、公平負担の徹底に取り組む。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	「働き方改革をさらに推進します」 働き方を見直し、創造性を発揮できる環境を作ります。	◇長時間労働に頼らない職場環境をつくります。 ◇業務改革や業務の見直しを進め、効率的な働き方を追求します。 ◇ワーク・ライフ・バランスを充実させ、豊かな人間性を育みます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名	奈良放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域放送の充実に継続的に取り組み、「ならナビ」を通して地域の活性化に貢献します。 また、県内の課題について、公平・公正で判断のよりどころになる報道に努めます。 さらに、インターネットも活用し、地域の情報を様々な手段で伝えます。	◇「ならナビ」企画の“奈良ネタ率”85%以上を確保する。 ◇自治体や各種団体等の情報発信を通して、地域の活性化に貢献する。 ◇正確・迅速な選挙報道に努める。 ◇地域スポーツ情報を充実させる。 ◇放送とホームページの連携を強化する。 ◇奈良局HPアクセス数において、29年度実績を上回る。 ◇地域指標調査において、「平日18時」の接触、質的評価の向上を目指す。同「地域の活性化への貢献」の項目の向上を目指す。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「命と暮らしを守る」放送に全力をあげ、「安全・安心の情報発信拠点」としての役割を果たします。 また、テレビ・ラジオ・インターネットを通じ、公共メディアとして信頼できる情報を奈良県民に届けます。	◇自然災害や事件・事故の緊急報道に万全を期す。 ◇防災・減災に役立つ情報発信に努める。 ◇L字放送やデータ放送、ホームページを活用した情報発信に努める。 ◇緊急・災害報道や選挙報道に備えた訓練や、機器整備に万全を期す。 ◇Lアラートの運用開始に向け、様々な準備を行う。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	質の高い番組制作を目指し、歴史、文化、自然など古都・奈良の魅力を国内外に発信します。 また、スーパーハイビジョンの技術を積極的に活用し、普及促進を図ります。	◇国内外から注目される奈良にふさわしい番組を制作する。 ◇県内の豊かな自然、歴史ある建造物や文化財などを、スーパーハイビジョンで積極的に撮影、制作する。 ◇2020年の新会館移転を見据え、スーパーハイビジョン番組の制作に必要な映像を蓄積する。 ◇受信公開など、スーパーハイビジョンの認知・普及促進を図る。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
4	地域の皆さまにより一層親しまれる奈良放送局を目指します。 また、公共放送の理解促進と受信料の公平負担の徹底に努めます。	◇奈良局の全営業目標の達成に向けて最大限の取り組みを実施する。 ◇支払率向上に向けた取り組みを強化する。 ◇「お客様の声」に注目し、より丁寧な訪問活動に心がける。 ◇会館公開や事業イベントを通して県民との交流の場を創出する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
5	創造的で効率的な業務運営を行い、働き方改革を推進します。 また、コンプライアンスの徹底を図ります。	◇働き方改革については、日々の業務で試行錯誤を繰り返し、実現可能な施策を探り出す。 ◇より効率的な業務を日常的に追求する。 ◇新奈良放送会館の移転計画を着実に進める。 ◇コンプライアンスを徹底し、公共放送の職員としての自覚を促し、視聴者の信頼を高める。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名	大津放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	滋賀県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。	◇防災・減災に寄与する情報を視聴者に向けて日頃から積極的に発信する。 ◇いざという時に万全な対応ができるよう、全局体制での訓練・習熟に努める。 ◇災害時には地域の災害情報や避難情報が広く行き渡るよう、テレビ・ラジオ・インターネットの最適な活用を進める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	滋賀県の課題に向き合い、地域の活性化に貢献します。	◇年間キャンペーン「しが！！応援宣言」のもと、地域の“いま、を見つめ発信する。 ◇SHVも生かした丁寧な取材で、滋賀県の魅力を全国・世界に届ける。 ◇「東京2020」に向けた動きをとらえ、アスリートや支える人々を積極的に取り上げる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	「より必要とされるNHK」をめざし、視聴者理解と公平負担を推進します。	◇地域に根ざした放送サービスに努め、双方向のコミュニケーションに力を入れる。 ◇多様化する視聴者意向に対応しながら、支払率・衛星契約割合の向上をめざす。 ◇“公共メディア”への理解促進に努力し、新放送会館の建設を着実に進める。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	創造的で効果的な「働き方」を追求し、質のある休暇取得で人間力を高めます。	◇業務の見直しやスクラップを進め、多様な人材が躍動する職場をめざす。 ◇業務を計画的に進めることで、週1回のノー残業デーと月1回以上の勤労休暇取得に努める。 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、公共放送人としての育成に力を入れる。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 松山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	公共メディアとして、正確な情報を様々な伝達手段で迅速に届け、地元の皆様の安全・安心に貢献します。	<p>◇災害時には、さまざまな状況に置かれた人たちに必要なきめ細かな情報を、テレビ・ラジオ、データ放送、インターネットで発信し、皆様のいのちと暮らしを守ります。</p> <p>◇日ごろから、減災・防災、防犯などに関するニュースや番組を発信し、他メディアとも協力しながら地域の安全・安心に貢献します。</p> <p>◇大災害発生などの非常事態の中でも放送・サービスを維持するため、機能の強化や運用体制の充実に努めます。</p> <p>◇公平・公正な選挙報道を、様々な伝達手段で、正確・迅速に伝えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地元密着の放送・サービスを拡充し、親しみあふれる放送局を目指します。	<p>◇地元の魅力を再発見し、地元の皆様楽しんでもらえる、身近な情報や関心の高いテーマを取り上げた番組の制作・発信に力を入れます。</p> <p>◇少子化、過疎化、産業振興など地元が抱える課題をニュースや番組で検証し、課題解決や活性化に貢献します。</p> <p>◇地元のニーズを捉えた公開番組、イベント、会館公開等を実施します。</p> <p>◇SHV本放送開始に向け、地元を強く意識した4K8Kコンテンツを制作し、PRにもつなげます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	働き方改革と効率的な業務運営を進めるとともに、コンプライアンスを徹底し、受信料の公平負担を着実に推進します。	<p>◇働き方の意識を改革する四国独自の施策を立案し、着実に実行していきます。</p> <p>◇一人ひとりに目配りした業務管理、勤務管理により、メリハリある働き方、休みやすい雰囲気作りを実現します。</p> <p>◇業務フローの見直しと効率的な業務運営を進め、ゆとりある創造性が発揮できる職場環境を構築します。</p> <p>◇全局態勢でコンプライアンス遵守とリスク管理を徹底し、視聴者からの信頼を堅持しながら、受信料の公平負担をさらに進めます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 高知放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守るため、全局態勢で取り組み、信頼できる情報発信拠点として、より多くの人の「安全・安心」に貢献します。	<p>◇本部や拠点局との連携を強化し、南海トラフ巨大地震、ならびに大雨や台風などの気象災害への緊急報道態勢を整備していきます。</p> <p>◇南海トラフ巨大地震に備え、設備整備と技術対応力強化を図り、確実な電波確保で情報発信に努めます。</p> <p>◇テレビ・ラジオ・インターネットで防災・減災に役立つ情報を日常的に発信します。発災時には命を守る情報の提供に全力を尽くします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	県民の求めるきめ細かな地域情報を届け、地域の豊かさや課題を共有するとともに、県外に高知の魅力や情報を広く伝え、地域活性化に貢献します。	<p>◇新番組「とさ金」とリニューアルした「こうちいちばん」を充実させ、県民にとって大切な情報をより深く、より身近に伝えます。</p> <p>◇高知県の自然、食文化、歴史、魅力的な人々の姿を県内、県外、世界へと発信します。</p> <p>◇過疎高齢化など高知が直面する課題に真摯に取り組めます。</p> <p>◇イベントや公開放送を積極的に実施し、視聴者のみなさまとともに地域を盛り上げ、県民の期待に応えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	「働き方改革」に基づく組織の効率的な業務運営を進めるとともに、視聴者との結びつきを強化し、公共放送と受信料制度の理解促進に努めます。	<p>◇仕事と生活とが調和する“働き方”を推進し、コンプライアンスを遵守しながら、環境にやさしい業務運営を行います。</p> <p>◇公共放送の役割や新たな取り組みを、積極的に広報し、視聴者との結びつきを強化します。</p> <p>◇全局態勢で、視聴者に受信料制度の理解が得られるよう努め、公平負担への促進を図ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



放送局の目標 [2018年度]

局名 徳島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	緊急報道、防災・減災報道に全力で取り組み、徳島が抱える課題に正面から向き合い、地域の安全安心の拠点として、より信頼される放送局を目指します。	◇緊急報道に万全を期し、テレビ・ラジオとインターネットを通じて正確で分かりやすい情報を迅速に発信する。 ◇南海トラフ等大規模災害時に対する備えを絶えず検証し、防災・減災情報を定期的に発信して、地域のいのちと暮らしを守る。 ◇徳島が抱える課題にしっかりと向き合い、その解決策のヒントを提示していく。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域のニーズに応える県域放送を充実させ、徳島の魅力や価値を、最先端の映像技術やインターネットを使いながら全国・海外にも発信して地域の活性化に貢献し、より親しまれる放送局を目指します。	◇「とく6徳島」と「あわとく」を、有機的に連動させつつ車の両輪として徳島のまちとひとの魅力を発掘し、4Kも活用しながら放送・サービスを強化して、地域の活気と活力の創出に貢献する。 ◇スポーツ報道を通じて地域の活性化につなげていく。 ◇番組・ニュースの制作、イベントやインターネットを通じて、若い世代・現役世代の接触率向上を目指す。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	コンプライアンスを徹底し、働き方改革を進めながら効率的な業務運営に努め、受信料の公平負担を進めます。	◇風通しの良い職場環境を作って休暇取得を促し、働き方改革を進めていく。 ◇放送と効果的に連動するなど受信料制度への理解促進を進めながら、営業目標達成のため、全力を傾注する。 ◇公共放送人としての自覚を促し、コンプライアンスを徹底して不祥事を抑止する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 高松放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の命と暮らしを守る防災・減災報道、緊急報道に全力で取り組みます。	◇県民の災害への備えや解決すべき課題などを継続的に取材し、防災意識の向上と安全・安心な地域づくりに貢献します。 ◇地震・台風・豪雨などの大規模災害に備え、放送機能の強化と報道態勢の整備に努めます。 ◇緊急時には様々なメディアを活用し、迅速・確実な情報を発信します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の魅力や課題を発信し、県民に信頼される放送局を目指します。	◇視聴者の関心が高い話題や、地域が直面する課題を深く掘り下げたニュース・番組を制作し、県域放送を充実させます。 ◇「香川がイチバン」をキャッチフレーズに、様々な番組で地域の魅力を発信します。 ◇スーパーハイビジョンの本放送に向けた取り組みを進めます。 ◇地域のスポーツを応援し、東京オリンピック・パラリンピックを目指す香川ゆかりの選手を積極的に取り上げます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務改革を進め、効率的な働き方を追求します。	◇柔軟でメリハリのある働き方を目指します。 ◇適切な業務管理・勤務管理を行い、長時間労働を抑制します。 ◇コンプライアンスを徹底します。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 広島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	中国地方の安全・安心の拠点をめざします。	◇みなさまの生命と生活を守るため、テレビ・ラジオを中心に様々な媒体を通じて、正確な情報を迅速に提供します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域放送・地域サービスの一層の強化を図ります。	◇中国地方5県の特徴を十分に活かした県域放送・ブロック放送をめざすとともに、地域の魅力を全国や海外に積極的に配信します。◇開局90年にちなんだ番組や催しを展開し、特に8KスーパーハイビジョンのPR拠点として公共メディアに対する理解促進を図ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	「信頼される組織」を確立します。	◇コンプライアンスを徹底し、風通しの良い活力ある職場をめざし、視聴者のみなさまから信頼される組織に変革します。 ◇長時間労働の是正など、公共放送で働く人の健康を守り、効率的で効果的な業務運営をします。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	公共放送の価値を高めます。	◇世界で初めての戦争による被爆地として、核・平和問題の発信を続けるとともに、他のマスメディアとも連携して、原爆体験の継承に努めます。 ◇8Kスーパーハイビジョンなどの新たなメディアを最大限に活用し、教育や福祉分野での貢献をめざします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 岡山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の安心・安全を守り、地域の魅力や課題を広く発信して活性化に貢献します。	<p>◇「命と暮らしを守る」報道に全力を尽くします。多様なメディアを使って、正確で迅速な災害報道、ライフライン情報、防災・減災のための情報提供に力を入れます。そして災害に備え、放送設備の強化、安定的な電波の送出や受信設備の整備に努めます。</p> <p>◇岡山の魅力を全国・海外に発信するとともに、地域の課題をとりあげ、岡山の視聴者の方々の期待にこたえるコンテンツを制作・放送します。県域放送の充実を図り、地域に貢献します。</p> <p>◇地域スポーツやオリンピック・パラリンピックに挑戦する選手を応援し、岡山を元気にします。</p> <p>◇公開番組やイベントを通じて視聴者との結びつきを強め、受信料制度の理解促進に努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	多様な働き方を尊重し、ひとりひとりが健康でいきいきと力を発揮できる職場をつくります。	<p>◇職員・スタッフのコミュニケーションを大事にしたみずみずしい職場を目指し、これまでの慣例にとらわれず効率的な働き方に取り組みます。</p> <p>◇コンプライアンスと職場の安全管理を徹底します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 松江放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	公共メディアとして「命と暮らしを守る」地域の防災・減災報道に全力で取り組み、みなさまの信頼に応えます。	◇災害報道をはじめ、島根原発をめぐる動きなど地域の安全・安心に役立つ情報の発信と体制を整備します。 ◇放送の安定的な送出手の機能強化と、良好な送受信環境の整備をします。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域に寄り添い、地域の活性化に貢献する情報を早く、深く、わかりやすく、広く発信しみなさまの期待に応えます。	◇人口減少など地域の課題に向き合うとともに、文化や自然など地域の魅力にも目を向け、島根の活性化に貢献する番組を放送します。 ◇不昧公没後200年の関連事業のほか、県民の関心が高い課題・話題について重点的に取材し、ニュースや特集番組などで放送します。 ◇鳥取局との連携強化、国際放送への展開に努めるなど、山陰地域ならではの魅力を広く伝えます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	公共放送への理解・信頼を高め、受信料制度の理解促進を図り、より必要とされるNHKをめざします。	◇スーパーハイビジョン放送開始に向け普及促進に努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック関連のイベントにも取り組みます。 ◇NHKの存在価値をアピールする有意義なイベントや公開番組を実施します。 ◇全局が一丸となった受信料制度への理解促進と公平負担の徹底に向けて取り組みます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	効率的な業務運営を行い、創造性を発揮できる職場作りを推進します。	◇働き方改革宣言を実現し効率的な業務運営を行うとともに、創造性にあふれ活力のある職場作りを推進します。 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、ハラスメントのない・許さない健全で働きやすい職場環境作りを推進します。 ◇「街との調和した地域情報の発信拠点」を考慮した松江局放送会館の建替に向けた検討を進めます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

放送局の目標 [2018年度]

局名 鳥取放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	<p>地域への「貢献」</p> <p>鳥取のさまざまな魅力と課題を発信し、地域の活性化に貢献します。</p>	<p>◇自然や文化、人々の暮らしなど、ふるさとの魅力を伝える放送を充実させ、県内や全国、世界に発信します。</p> <p>◇夕方のニュース情報番組を強化し、暮らしに身近な情報や関心の高いテーマについて、より早く、深く、わかりやすく伝えます。</p> <p>◇NHKの全国ネットワークも生かしながら地域の課題を掘り起こし、解決策を提起するなど、地域の未来づくりに貢献します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	<p>地域からの「信頼」</p> <p>公共放送としての信頼を大切に、地域の安心・安全を守るための確かな情報を提供します。</p>	<p>◇防災・減災報道に全力で取り組み、災害時にはテレビ・ラジオ・インターネットを活用して、命と暮らしを守る情報を届けます。</p> <p>◇放送の安定的送出と良好な送受信環境の整備を図ります。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底し“揺らぐことのない信頼”を築きます。</p> <p>◇業務を効率化して「働き方改革」を推し進め、活力ある組織を作ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	<p>地域との「つながり」</p> <p>新たなサービスや取り組みを積極的に広報して理解促進に努め、地域に親しまれるメディアを目指します。</p>	<p>◇受信料制度の理解促進と公平負担の徹底を図ります。</p> <p>◇地域の放送局としての取り組みをさまざまな媒体で伝え、地域にとって“最も身近なメディア”になることを目指します。</p> <p>◇イベントやインターネットを通じた視聴者とのコミュニケーションを生かし、地域との結び付きを強化します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

放送局の目標 [2018年度]

局名 山口放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	みなさまとともに地域の課題に向き合い、より良い未来のための「道しるべ」となります。	<p>◇若年層の人口流出をはじめとする重要課題に取り組み、地域が進むべき道を探ります。やまぐちに暮らすみなさまが“より良い未来”を選択できるよう、情報を提供し、ともに考えます。</p> <p>◇明治150年という節目の年にあたり、地域の豊かな自然や文化を見つめ直します。その魅力を日本全国、世界へ向けて発信し、交流人口や移住の拡大など活性化に貢献します。</p> <p>◇地域のみなさまとともに未来を見つめ、活性化に貢献することで、受信料の公平負担への理解を深めていただけるよう努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	わかりやすく丁寧な防災・減災情報をお届けし、山口県に暮らすみなさまの命と暮らしを守ります。	<p>◇災害などの発生時には、正確な情報を、子どもにもお年寄りにもわかりやすい表現で、放送とインターネットを駆使して迅速にお届けします。</p> <p>◇日ごろから、地域の特性に則した防災・減災情報の提供に努め、地域に暮らすひとりひとりが“自らの命を守る意識”を深める機会を増やします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	健康的で創造性に富んだ職場環境を作り、生産性を向上させることで地域の期待に応えます。	<p>◇日常的に業務の進め方を見直し、改善を行い、生産性を向上させることで地域サービスの充実を実現します。それによって、受信料の価値を高めます。</p> <p>◇山口放送局で働くすべての人が最大限の力を発揮して地域サービスに取り組むことができるよう職場環境を整え、地域にしっかり根を張った、信頼と親しみを感じてもらえる放送局へと進化します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 福岡放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「地域のみなさまの期待に応える放送・サービスの実現」 福岡県域放送の発信強化と九州・沖縄各局のネットワークの強化により、地域に密着した放送・サービスの充実を図ります。 地域の安全・安心を守り、多様な地域の魅力や課題を国内外に広く発信し、地域の期待に応えます。	◇日頃から防災・減災につながる情報の提供を行い、地域の安全・安心の拠点として災害・事故発生時には正確・迅速な緊急・災害報道に取り組みます。 ◇熊本地震や九州北部豪雨など被災地の現状や課題を継続して伝えるとともに、地域に寄り添った放送を通じて復興を支援します。 ◇北部九州エリアの広域的な情報発信を強化し、地域に密着した課題に向き合い、多様な編成で地域のみなさまの関心に応えます。 ◇地域の多彩な魅力を届け、地域ドラマやエンターテインメント番組など、世代を超えて楽しめる番組や、伝統文化の継承に貢献する番組を制作します。 ◇野球、サッカー、大相撲など地域の関心の高いスポーツを応援するとともに、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地元選手や競技の関連情報を伝え視聴者の関心を高めます。 ◇アジアと文化・経済・社会的につながるの深い地域ならではの視点で、地域とアジアとの関わりの最新動向を伝え、地域の未来を見つめます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「創造的で活気あふれる職場づくり」 働き方改革を進めて、創造的に生き生きと働ける活気あふれる職場を実現します。	◇働き方改革を進め、効率的な働き方を追及するとともに、多様性を尊重して、やりがいを持って生き生きと働ける職場環境を実現します。 ◇公共放送を支える高い倫理観と創造性を持つ人材の育成に努め、コンプライアンスの徹底、情報セキュリティの強化を図り、透明性の高い業務運営に努めます。 ◇地域の期待に応える放送・サービスの実現に向けて、限られた経営資源の価値を最大化するために、九州・沖縄ブロック経営の視点で効率的・効果的な業務体制の構築に努めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	「地域のみなさまに親しまれる放送局づくりと受信料の公平負担の徹底」 地域のみなさまとの結びつきを強化し、NHKへの理解促進を図り、受信料の公平負担を徹底します。	◇地域のみなさまにより身近に感じてもらえるよう、公開番組やイベントなど視聴者参加型の取り組みを積極的に展開し、地域に根差した親しまれる放送局づくりに努めます。 ◇幅広い世代から“より必要とされるNHK”をめざし、理解促進活動を展開します。特に、子どもや若者、子育て世代など次代を担う人たちとのつながりを大切にします。 ◇4K・8K放送やインターネットを活用したサービスに積極的に取り組み、地域における“公共メディア”の役割について理解促進に努めます。 ◇地域のみなさまからの声を丁寧に聞いて、受信料制度への理解促進に誠実に取り組み、受信料の公平負担の徹底に努めます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 北九州放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	命と暮らしを守る防災・減災報道に全力！	◇福岡局と連携しながら迅速・正確な緊急・災害報道に万全を期し、公共放送に対する視聴者の信頼を高めます ◇必要に応じて北九州局独自に様々な回路できめ細かく災害情報を伝え、同時に日頃から防災上の課題を発信して命と暮らしを守ります ◇緊急時を含め、放送の安定送出に万全を期すとともに、受信環境の一層の向上に努めます ◇緊急報道訓練の実施や緊急報道マニュアルの見直しに努めます	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の活性化と課題の解決に貢献！	◇ものづくりの伝統を受け継ぐ地元企業の強みや課題、ポップカルチャーや映画といった地域の新たな魅力等を「610」などで取り上げ、地域活性化へのヒントを探ります ◇全国の大都市で最も進む人口減少や高齢化、短い健康寿命など地域の抱える課題を取り上げ、解決の糸口を探ります ◇地域唯一のプロスポーツチームであるJ3「ギラヴァンツ」や東京五輪を目指す地元選手を積極的に取り上げ、地域を盛り上げます ◇北九州市長選など選挙報道に万全を期し、行政の課題や問題点についても視聴者にわかりやすく提示します	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	視聴者との対話を強化し、受信料の公平負担を一層推進！	◇公開番組や独自イベントの実施、4K・8KのPR活動などで視聴者とのつながりを強め、公共放送への理解を一層進めます ◇視聴者の声を丁寧に聴きながら、地域の企業や大学等との関係を強化し、受信料制度への一層の理解促進に努めます ◇法人委託の定着・拡大を引き続き進め、公平負担の推進に全力を挙げます	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	業務の進め方を改善し、総労働時間を抑制！	◇地域改革プランに沿って福岡局との連携強化を具体的に進めるとともに、要員削減が職員の負担増加につながらないよう、部の垣根を越えて互いに協力しながら効率的・効果的な業務運営を追求します ◇外部パワーも一層活用しながら総労働時間の抑制に取り組む、職員・スタッフが意思疎通を図りながら活力ある放送局を目指します ◇コンプライアンスを徹底させるため、継続的に職員・スタッフの意識向上を図ります	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 熊本放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「命と暮らしを守る報道」に全力を挙げ、熊本地震を伝え続けます。	◇地震や台風、火山噴火といった自然災害に備え、防災・減災報道に全力で取り組む。 ◇伝送設備の運用を強化し、緊急報道体制を充実させる。 ◇熊本地震2年の節目を中心に地震を伝え続け、復興を支援する。 ◇新運行装置の安定運用に引き続き取り組む。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	新たな技術も駆使して熊本の魅力や課題を発信し、地域社会に貢献します。	◇水俣病や再開発事業、人口減少といった地域が抱える課題に向き合い、地域改革パイロット局として放送・サービスを充実させる。 ◇熊本市長選挙などで正確・迅速で充実した選挙報道を実現する。 ◇大河ドラマ「いだてん」をチャンスととらえ、地域コミュニティや地方メディアとも協力して盛り上げる。 ◇4K・8Kやインターネットも駆使して熊本の自然や文化の魅力为全国のみならず世界に向けて発信する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料の公平負担の徹底に向け、支払率と衛星契約割合を向上させます。	◇訪問要員の安定的な確保などの取り組みを通じて、すべての営業目標を達成し、支払率と衛星契約割合を向上させる。 ◇業務品質向上への取り組みと丁寧な視聴者対応を徹底していく。 ◇大河ドラマ「いだてん」を活用し、局を挙げて受信料制度の理解を促進する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	「働き方改革」やコンプライアンスの徹底に取り組めます。	◇より創造的で効率的な体制をめざし、「働き方改革」を進める。 ◇2017年度と比較して平均の年間総労働時間を減らし、平均の年間勤労休暇取得日数を増やす。 ◇「信頼されるメディア」をめざし、コンプライアンスを徹底し、リスクマネジメントを強化する。 ◇「公共メディア」への進化を支える人材の育成に取り組む。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 長崎放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	被爆地の放送局として、核兵器廃絶や平和を願う長崎の声、世界の動きを国内外に発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇平和祈念式典中継や特集企画など、核廃絶の訴えや被爆体験の継承に資する放送番組</li> <li>◇平和運動や被爆体験の継承に向けた新しい世代の動きを伝える報道</li> <li>◇核兵器のない世界を目指す海外の動きを伝える報道</li> <li>◇平和について考えるきっかけを提供するイベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
2	長崎が持つ歴史や魅力を発信するとともに、地域の課題や関心の高いテーマを多角的に取り上げ、地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇安全・安心を守る防災・減災報道</li> <li>◇地域やそこに住む人々の魅力を全国に伝えるドラマ制作</li> <li>◇「長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録に向けた関連情報発信</li> <li>◇米軍や自衛隊の動きなど東アジアの安全保障と住民生活への影響をめぐる報道</li> <li>◇諫早湾干拓事業や石木ダム、新幹線整備、隣県の原発など地域で議論されるテーマをわかりやすく掘り下げた報道</li> <li>◇恵まれた農林水産物や観光資源について全国に紹介</li> <li>◇V・ファーレン長崎情報をはじめ人々の期待に応えるスポーツ情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化 ✓</li> <li>多様な地域社会への貢献 ✓</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
3	視聴者との結びつきを強め、理解と信頼を一層高めて、公共放送の基盤安定を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域ドラマと連動した広報・理解促進活動</li> <li>◇地域の人々・自治体とのつながりを強める公開番組・イベント</li> <li>◇4K・8Kスーパーハイビジョンの普及促進に資する番組制作や広報活動</li> <li>◇設備保守整備、外国波混信対策等による電波の安定送出確保</li> <li>◇視聴者の理解と信頼に基づく契約・収納活動を通じた公平負担の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ ✓</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</li> <li>創造と効率、信頼を追求</li> </ul>
4	「働き方改革」を進め創造的で効率性の高い職場環境を実現するとともに、コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域放送の充実・強化と「働き方改革」を両立させる業務体制の構築</li> <li>◇適切な業務運営・勤務管理を通じたワーク・ライフ・バランスの実現</li> <li>◇積極的なコミュニケーションを通じた風通しのよい職場づくり</li> <li>◇力強い地域放送サービスを支える人材の育成</li> <li>◇コンプライアンス・公金意識の向上とリスクマネジメントの推進を図る各種施策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“公共メディア”への進化</li> <li>多様な地域社会への貢献</li> <li>未来へのチャレンジ</li> <li>視聴者理解・公平負担を推進</li> <li>創造と効率、信頼を追求 ✓</li> </ul>

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 鹿児島放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	火山・風水害・地震等の緊急時に備えて、鹿児島の視聴者の皆さまに役立つ防災・減災報道をテレビを基軸に、ラジオ・インターネットでも積極的に展開し、高い評価を得られるよう努めます。	<p>◇緊急報道においてはテレビと同様にラジオでもローカル特設枠を設けて、運転中の人などにも情報を積極的に提供します。</p> <p>◇インターネットによるNHKの災害報道を、地元の視聴者の皆さまに定着させます。</p> <p>◇災害時に対応するための職員の訓練を実施します。</p> <p>◇鹿児島放送会館の機能喪失時に備えて、サブステーション等の機能をさらに整備します。</p> <p>◇地域指標やモニター報告等で、鹿児島局の災害報道の客観的な評価が高まるよう努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	働き方改革と地域放送改革に向けて、業務の効率化と集中を進めます。 平日の午後6時10分と金曜夜7時台の県域番組に注力し、視聴者の皆さまから評価されるよう努めます。	<p>◇「業務の効率化あってこそ働き方改革・地域放送改革」という認識を職員に浸透させて、積極的に提案を募ります。</p> <p>◇平日の午後6時台の「情報WAVEかごしま」では、視聴者目線を最も大切にしてニュースをわかりやすくお伝えします。</p> <p>◇金曜夜7時台には鹿児島局の自主制作番組に加えて、鹿児島に関係のある全中番組の再放送やリメイクを積極的に放送します。</p> <p>◇職員の個人の時間を尊重します。勤務時間とは明確に区別します。健全なレクリエーションやスポーツを奨励します。</p> <p>◇地域指標やモニター報告・視聴率調査等で、鹿児島局の県域放送の客観的な評価が高まるよう努めます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	大河ドラマ「西郷どん」の地元・鹿児島での高い評価を生かして、全局体制で営業業績の向上をめざします。	<p>◇西郷どんプロジェクトの目標の1つが鹿児島局の営業業績の向上であることをメンバー全員が十分に認識したうえで、番組・イベント開発や広報活動を展開します。</p> <p>◇ドラマ番組部や広報局番組広報と連絡を密にして、地元からの要望を鹿児島局から伝えていきます。</p> <p>◇「西郷どん」放送の今年の鹿児島局は、何とんでも営業目標の達成を成し遂げ、「支払率・衛星契約割合の1ポイント向上」を図ります。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	職員・スタッフ間で可能な限り情報を共有しコミュニケーションを良好にして、コンプライアンスの重要性を浸透させます。	<p>◇個人の甘えが最悪の事態を引き起こし協会に致命的なダメージを及ぼしてしまうだけでなく自分の家族も絶望させてしまうこと、を職員に改めて認識させます。</p> <p>◇部長会・デスク会・部会・班会を忌憚のない意見を交わせる場と位置づけて活性化させ、可能な限り情報共有をはかります。</p> <p>◇職場環境評価やストレスチェックなどのデータを基に各職場の問題を速やかに把握し、適切に対処します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 宮崎放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	宮崎の「命と暮らし」を守る防災・減災報道、正確・迅速で頼りになる緊急報道に全力で取り組み、安全で安心な地域づくりに貢献します。	◇南海トラフ巨大地震・霧島連山の噴火・台風接近・大雨など自然災害に備え、頼りになる情報を多角的な手段で提供できるように十分な準備を行い、あいにく災害が発生した場合には被害を抑える正確で迅速な報道に取り組みます。 ◇防災意識の向上や安全・安心な地域づくりにつながるように、防災への取り組み・課題などを継続的に取材します。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に向き合い、解決策を模索する番組や、宮崎の魅力を全国・世界に発信する番組を制作し、地域社会の活性化に貢献します。	◇農林水産業・地域医療・福祉・交通網などを取り巻く課題や、過疎化・少子高齢化・若者の県外流出といった問題の解決策を探る番組を継続して制作します。 ◇宮崎の豊かな自然や歴史・伝統・文化・スポーツ環境の魅力を県内に伝えるとともに全国・世界に発信します。 ◇4Kの超高精細映像で宮崎の豊かな自然や文化を記録し、スーパーハイビジョンでの展開を図ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	イベントの展開など視聴者の皆さまからの信頼に応える活動を続けるとともに、営業活動を着実に進めて受信料の公平負担を徹底します。	◇大河ドラマへの関心に応える展示イベントや各種の公開番組を実施します。 ◇営業の新しい法人体制を円滑に導入して訪問パワーを確保し、衛星未了を含めた未契約の世帯・事業所に着実に対応して、営業目標をすべて達成します。 ◇コンプライアンスを徹底し、職員・スタッフが健康的に生き生きと働ける職場環境を築きます。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 大分放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	大分県民の命と暮らしを守るための防災・減災情報の発信を強化して地域から頼られる安全・安心の拠点としての力を向上させます。 また、九州北部豪雨などの被災地の復旧復興を引き続き支援します。	◇南海トラフ巨大地震や直下型地震、津波、火山の噴火、台風や大雨などの災害に備え態勢の整備や訓練を推進 ◇データ放送やホームページ、イベントなどを通じた防災・減災の情報発信の強化 ◇放送の安定送出、電波の安定確保 ◇九州北部豪雨や台風、熊本地震などの被災地の再建を積極支援	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域に向き合い魅力や取り組みなどを積極的に取り上げて地域の活性化に貢献します。	◇大分県の豊かな自然や食、伝統文化などの魅力を地域にとどまらず全国や海外に積極発信 ◇20年を迎える新放送会館を主な舞台に開催される国民文化祭や障害者芸術・文化祭に関連する情報発信 ◇外国人や障害者も暮らしやすい社会実現の課題や解決策の提示 ◇ワールドカップラグビー2019などスポーツ情報発信の強化 ◇4K素材の蓄積などスーパーハイビジョンの普及に貢献	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	放送やイベントなどを通じて地域の人と触れ合う機会を増やし、開かれた親しまれるNHKをめざし、受信料制度への理解を深めてもらいます。	◇公開イベントや夕方のニュース情報番組、4K・8Kモニターの地域展開を増やしNHKへの接触度合いを向上 ◇広報や事業の新たな展開を検討・実施 ◇受信料の推計世帯支払い率を着実に引き上げ	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	気軽に議論ができる風通しのよい職場を作り仕事の効率的な遂行をめざします。	◇明るく元気に仕事ができる創造的な職場の構築 ◇休日確保の工夫 ◇業務の不断の見直し	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓



## 放送局の目標 [2018年度]

局名 佐賀放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	視聴者の生命と暮らしを守るとともに、寄り添う情報提供を充実し、信頼される放送局を目指します。	<p>◇災害や事件・事故に備える体制を築き、安全・安心を守る 正確・迅速な報道を、放送やインターネットを活用して様々なプラットフォームに発信する。</p> <p>◇地域放送の強化・拡充を目指すとともに、視聴者のよりどころとなる公平・公正な情報を提供する。</p> <p>◇安定した送出および、安定した電波を確保する。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	親しまれる放送局を目指すとともに、地域の放送、サービスの充実に一層力を入れ、地元の活性化に貢献します。 SHV本放送に向けて、理解・普及促進に取り組みます。	<p>◇経営計画に盛り込まれた地域放送を充実するとともに、多様な地域の魅力を掘り起こし、佐賀の魅力を全国へ発信する。</p> <p>◇暮らしに密着した情報や豊かで元気になる番組を発信し、地域に根差した放送局としてイベントなどを展開する。</p> <p>◇明治維新150年を多角的に見つめ、地域を盛り上げる。</p> <p>◇Jリーグの他、東京2020にむけて、県内のアマチュアスポーツを取り上げ、地域のスポーツ振興に貢献する。</p> <p>◇SHVなどの新技術を活用した新たなサービスを創造する。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料制度について、一層のご理解を頂けるよう取り組みます。 コンプライアンスを徹底するとともに、働き方改革を推進し、活力ある職場と、ひとりひとりが創造できる環境を整えます。 新放送会館では街の中核となる機能を充実し、にぎわいの創出に貢献します。	<p>◇NHKの使命と受信料制度への理解を促進し、公平負担を追及するとともに、BS放送受信の普及促進に取り組む。</p> <p>◇業務の棚卸しやスクラップを提案、長時間労働の抑制などを推進し、新たな業務へのシフトを可能とする改革に取り組む。</p> <p>◇地域の期待に応える新会館建設を着実に遂行する。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

## 放送局の目標 [2018年度]

局名 沖縄放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「万国津梁」沖縄の魅力と課題を全国、世界へ発信し、県民に広く親しまれ信頼される放送局をめざします。	◇国と県が対立する米軍基地の問題を深く多角的に取材し、全国に伝えます。 ◇沖縄戦や米統治下の埋もれた事実を掘り起こし、平和のメッセージを語り継ぎます。 ◇全国が注目する県知事選を始め、一連の選挙を公平・公正かつ正確・迅速に伝えます。 ◇自然・文化・芸能・スポーツなど沖縄が持つ多彩で奥深い魅力を描き出し、全国、海外に伝えます。スーパーハイビジョンでの記録にも取り組みます。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	沖縄県民の命と暮らしを守るための放送を充実・強化し、「安全・安心の情報発信拠点」としての役割を果たします。	◇緊急・災害報道に備えて、放送機能と取材制作体制を強化します。特に、離島の体制整備に取り組みます。 ◇台風を始めとする災害報道では、L字型画面やデータ放送、インターネットも駆使して、きめ細かく伝えます。 ◇夕方ニュースや金曜夜間の地域情報番組をいっそう充実させ、県民の命と暮らしに関わる課題を取り上げ、解決策を探ります。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料制度の理解促進に向けて、全局一体の取り組みで地元とのつながりを深め、県民に支えていただける放送局をめざします。	◇県内各地で公開番組やイベントを展開し、様々な世代にNHKに触れてもらえる機会を増やします。 ◇受信料制度の理解促進と公平負担の徹底にいっそう努め、世帯支払率50%突破を早期に実現します。 ◇慣行を破る働き方改革により創造性と活力を高め、視聴者サービス向上につなげます。 ◇コンプライアンスを徹底し、受信料で支えていただくにふさわしい組織を作ります。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓